

ももたろう通信



発行日:2019年11月1日
発行:社会福祉法人つどいの家グループホーム
発行責任者:飯田克也(グループホーム管理者)
住所:〒984-0823
仙台市若林区遠見塚2-16-15(ピボット若林)
連絡先:022-282-4671

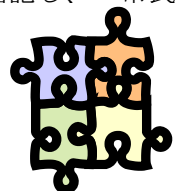
私達は仲間と協力して
生活しています

※ももたろう新聞の由来:仲間と助け合い、共に作る広報誌

10月12~13日、東日本に記録的な大雨をもたらした台風19号により、各地で洪水や土砂崩れ、河川の決壊が起きました。被害にあわれた方々の一日も早い復旧、復興を祈念いたします。当法人事業所は被害はありませんでしたが、仙台市外ではグループホームの浸水や河川の堤防が決壊し、通所事業所の敷地内が一時、冠水状態になったところもあります。仙台市内では河川の氾濫や土砂崩れの恐れがあるため、繰り返し避難行動を呼びかける緊急速報のメールがありました。グループホーム近隣の小学校には一時、100名を超える方々が避難されたそうです。今回は避難所等に避難することはありませんでしたが、今後は避難することを想定し、経路の確認等が必要になることを痛感しました。

仙台市内のグループホームの数は現在約250戸(定員約1350人)、毎年その数は増え続けています。数が増え、障害のある方々の地域での生活が広がっていることはとてもよいことです。しかしその一方で、グループホームが閉じられている現状もあります。最近介護分野では異業種から新規参入した企業の倒産、売却が増えています。ある番組で高齢者の介護事業元経営者は撤退した理由を「思った以上に手間がかかり、本業ではないなか利益がでないので本業に専念することにした」と話していました。グループホームは住む場所を提供すればそれでよいというものではありません。入居者の方々の日常生活そのものの支えが必要となります。平成元年にグループホームが誕生した際の設置運営マニュアルは、グループホームの基本的な性格について以下のように記しています。「グループホームは施設を単に小型にしたというものではない」「グループホームは地域社会で選択的に生きる知的障害者の生活の拠点である」「グループホームにおける入居者の日常生活は、指導・訓練的なものが最小限であり、管理性が排除されたものである」「グループホームにおける入居者の生活は、基本的に個人生活であり、本人の希望により契約が継続する限り続くものである。その意味での仮の宿ではないことを関係者は銘記し、一市民の地域生活にふさわしく、プライバシーが確保され、一市民としてすべての権利が保障されるよう最大の配慮をしなければならない」。今一度、「グループホームとは」「大切なことは」をあらためて考えなければならないと思います。

(グループホーム管理者 飯田)



グループホーム紹介（ひこうき雲編）

今回はひこうき雲編ということで、I さんを紹介したいと思います。

I さんは表現がとても豊かです。楽しい時には笑顔で手拍子をしながら歌い始めたり、世話人とハイタッチをしたり、世話人や他入居者のご家族が帰りそうになると寂しくなって涙がこぼれたり表情が変わっていきます。たまに泣き真似や人の名前などを忘れたふりして世話人の反応を楽しんでいることもあります。

また、他の入居者に元気がなかったり、観ているテレビに映った人が泣いていたりすると心配でしょんぼりとした表情になったり一緒に泣き出してしまう心優しい性格の持ち主です。



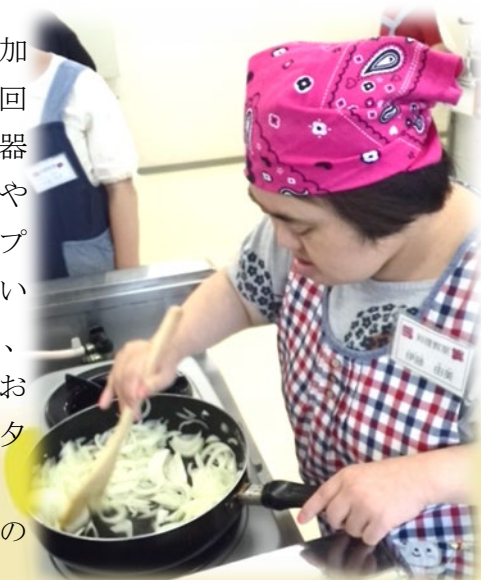
通所施設から帰宅して入浴や夕食以外の自由な時間はパズルやトランプ、折り紙や塗り絵などをしながら過ごしています。

左の写真はおもちゃのドーナツをトングで積み上げていくゲームです。土台のお皿が不安定なのでどこに乗せようか悩んでしまいそうですが、集中モードに入るとためらうことなく次々にドーナツを重ねていく I さん。世話人も「一緒にやろう」と誘われるのですが、なかなか 4 つ以上は重ねられません。悔しがる世話人を見て「残念だね... もう一回やってみよう。」と声を掛けてくれます。



休日はヘルパーと一緒に料理教室や音楽サークルに参加したり、買い物やカラオケに出掛けたりしています。月 1 回の料理教室では卵を割る、食材を包丁で切る、炒めるなど器用にこなす I さん。調理も好きですが、一番のお楽しみはやっぱり自分たちで作った料理を食べること。一緒にグループになった仲間やヘルパーとおしゃべりを楽しみながらいただき、満足そうな表情です。ひこうき雲に帰ってくると、その日作ったレシピを広げて「これ、作ったんだよ!」「おいしかったよ!」と嬉しそうに報告。ひこうき雲でも時々夕食作りのお手伝いをしてくれます。

これからも色々なことに挑戦しながら、グループホームの生活を楽しくいきましょう。



🌸町内会夏祭りに参加しました🌸

7月27日、毎年恒例の南光台第八町内会夏祭りが行われました。さくらはうすでは建物前にテントを立てお祭りに出店。アイスやラムネ、仙台つどいの家のクッキーを販売しました。

当日は好天に恵まれ・・・というよりとても暑く、お祭りにふさわしい一日となりました。会場の公園からお囃子が流れると、ニコニコ笑顔で駆け出



していき Sさん。お祭りをくまなく回り地域の方々とお話する Oさん（仙台つどいの家のバザーの宣伝もたくさんしてくれました）。

出店で買い物に夢中な Aさんなど、入居者の皆さんはとても楽しんでいました。ちなみに販売物も沢山の皆さんに買って頂き完売しました。

今回も快くお祭りに参加させていただいた、第八町内会の皆様本当にありがとうございました。また来年もよろしくお願ひします。

（記：後藤昌宏）



🌻さくらはうす・ひかりはうす合同納涼会🌻



今年の夏も暑かったですね…(^_^;皆さんは猛暑をどのように乗り切りましたでしょうか？

さくらはうす、ひかりはうすでは8月13日に納涼会と称し、かき氷とスイカを食べました！機械に氷をセットし、ひたすらガリガリ…。

Oさんはブルーハワイのシロップをかけご満悦の様子です(^_^♪ Aさんは甘いものが大好き！

大きな口を開けて頬張っていました。つられて世話人もアーン…(笑)

最後に世話人、メンバー全員でスイカを味わいお開きとなりました。毎年暑さが厳しくなっていま

すが、スタミナもりもり付けて乗り切っていきたいですね。
（記：伊達直美）



🍉ひこうき雲・オキーノ合同すいか割り🍉

8月13日にひこうき雲・オキーノ合同でピザパーティーをした後、すいか割りを行いました。皆さんバットで挑戦！何度も命中しますがなかなかすいかは割れません。そんな中、Tさんは一撃ですいかを真っ二つに。「黄色だね～！」と中身が黄色で二重に驚きのひとときでした。

（記：宮本充）



入居者大集合

9月4日に福祉プラザにて「グループホーム学会 入居者大集合」が行われました。つどいの家のグループホームからは4名が参加し、他の法人のグループホームの方々と交流してきました。

自己紹介から始まり、ホームでの出来事や自慢などの話題を興味深々で聞いていました。緊張からか、

なかなか手が上がらなかった4名でしたが、後半0さんが「つどいの家でバザーあります」と宣伝してくれたり、たくさんお話されていました。皆さん「久しぶりに会えた人もいて楽しかった」とのこと。

また「今年のグループホーム学会の全国大会は東京です」と発表があると、「行きたい！」と目を輝か

せて手を挙げている姿が印象的でした。

そして先日にじいろのSさんとひこうき雲のAに参加することとなりました！Sさんは「話を聞いてきますAさんは「他のグループホームの事を聞いて、私もひこうきとや頑張っていることを話してきます。」と参加の意気込みで参加していました。学会でのお話はもちろんですが、お土産話を楽しんでいますね！



入居者懇談会から

今年度も月に一回グループホーム入居者で集まり懇談会を行なっています。毎回必ず近況報告を各ホームからしてもらっていますが、ホームによって様々な話題が飛び交い盛り上がっています。

6月の懇談会では趣味をテーマにみなさんから話をしてもらい、

参加したメンバーから幅広いジャンルの曲や歌手の名前が挙がっていました。

普段なかなか会わない入居者、職員とお話ができる機会となり、新たな一面を見せてくれる方も。

今後はよりたくさん入居者のメンバーが集まる機会を企画できればと思います。

(記：佐藤靖志)



編集後記

今回のももたろう通信はいかかでしたでしょうか。朝晩の冷え込みが厳しい季節になってきました。インフルエンザにノロウイルスに気になる事がいろいろありますが、秋の夜長楽しく過ごしたいですね。今年は映画をレンタルしゆっくりみようと思います。

(記：佐々木忠)